

## 設立3年目を迎えて

広島県支部 支部長 白井 勝秀 (昭和39年卒業)



東日本大震災から1年が経つ。未だ復興のペースは遅く、被災地住民の苛立ちが各報道で毎日伝わって来る度、切

ご指導、助言により組織も整いつつあります。本年二月に理事会を開き、本年度の行事予定及び総会開催の打ち合わせ

なく、やるせない思いです。特に福島県最大の課題は東電原発事故で拡散した放射性物質の除染であり、目に見えぬ物質と戦っている被災者は苦痛の連続で、いつ終末を迎えるのか…祈ってやみません。

校友会広島県支部も設立3年目となり、本部、各支部の

等行いました。

また、23年度総会を行った東広島市西条町は広島随一の酒どころ、昨年十一月にJR西条駅近くで“酒まつり”が開催され、支部からも「広島県支部旗」を掲げ、役員数名が参加しました。在阪ほか大学OB達も立ち寄り、大いに盛り上がり、大商大のPR効果大でした。

また大学への進学勧誘も熱心に取り組んでおります。しかし近年の少子化による生徒数の減少で、当県も今年度で公立高校二校が閉校となり、私立高校においても生徒募集に四苦八苦しているのが現況です。小生も母校及び知人のいる高校に出向き進学指導教員に情報誌など持参、お願いしている昨今です。